

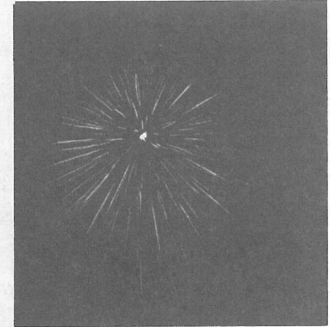
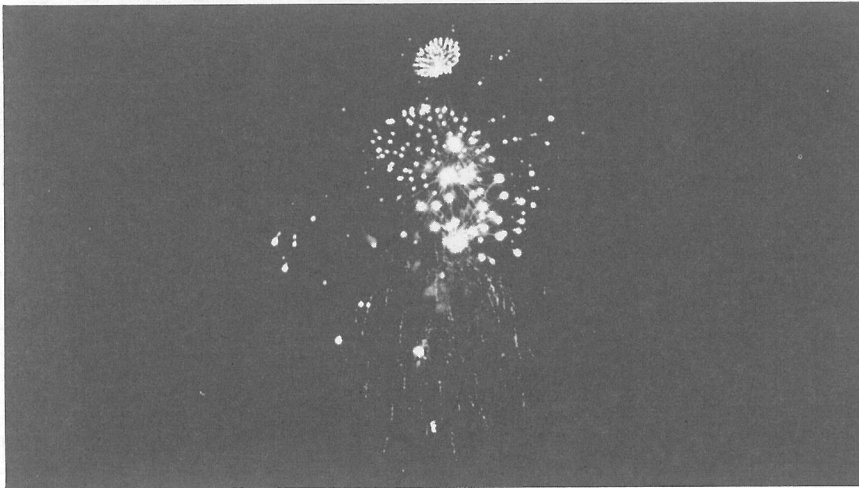
庄内 清水には新しく引越してきた人がかなりいますが、普段のつきあいがなくても、祭りを通じて交流ができてきていると思います。全部が全部ではありませんが。そういう意味ではいいことだと思いますね。

勝俣 祭りをやったからって一気にむらが結束するっていうのは不可能だと思います。一つのステップとして徐々に固まっていくんじゃないでしょうか。

大澤 古川には、新しい人がたくさんいます。一時、消防団員になる人がいなくて困ったんですが、若連ができてから若い人の交流ができたんで、その後は心配なくなりましたね。町民体育祭の選手なども、比較的スムーズに決まります。地域のまとまりにはすごく貢献していると思います。

斉藤 そうですね。町民大会の選手や応援についても、祭りをを行うことによってできた和というものが、大変役立つことは事実ですね。**勝俣** うちの鳥喰は、農学部だけど、今は勤め人がすごく多いです。だから同じ町内に住んでいながら、なかなか話しをする機会がないんですね。村中で祭りみたいなものをやれば会話も生まれるんで、そういう人と人のつながりをつくるために、祭りは必要だと思いますよ。

木島 うちの祭りは、みこしと演芸会なんです。夜の演芸会では、とにかくむらの人を一人でも多くステージに上がってもらえるようにスケジュールを組んでいます。企画する人は大変ですが。メインは富くじ。今年の一等はカラーテレビでした。花火も上げました。途中で帰る人はいませんでしたね。くじを最後にやりまし



雨の中で打ち上げ
夏の夜に花火はつきもの!?

(新島・北清水)

たから。 (笑い)

司会 新島は、会場がライスセンターというところで、今回のような天気では強みですね。

木島 今年はつくづくこの会場でよかったと思いましたね。

斉藤 こんな座談会、何回も開いてもらいたいね。いいところはほとんど取り入れて、お互いに祭りを成功させたいですからね。

市原 そうですね。それによっていいむらやまちができると思いますから。

木島 東町・本町・上町はスポンサーが多いから、経費面では楽でしょうね。

大澤 実際のところはわかんないけど、外からだと楽に見えちゃいますね。

木島 うちの資金が少ないこともありまして、お金をかけてタレントを呼ぶなんて考えたことありません。住んでいる人の誰かをステージに上げれば、何か面白いことをやってくれるんじゃないかって。今回も夫婦ペアで二人羽織をやったりして。:

実川 うまくいかないとお金に頼ってしまいたくなりますよ。

今回チビッコタイムをつくったんですけど、出てくれる子どもがいなくてね、お金を出してもタレントを呼んじやった方が楽かなって考えちゃいました。

木島 実際問題、素人が2〜3時間のステージをきりまわすのは大変ですからね。

伊藤 プログラムを組むにしたって、同じものが続いちゃうとまずいし、それだけでなくもハプニングの連続ですからむずかしいね。